

★木造化ファイルNo.159（清水障害者サポートセンターそら）

サポート拠点は、オール県産材

1) 施設名（用途）	清水障害者サポートセンターそら（保健・保養等施設）
2) 所在地	静岡市清水区庵原町 219-18
3) 事業実施主体名	特定非営利活動法人清水障害者サポートセンターそら（静岡市）
4) 設計者名	一級建築士事務所 酒井信吾建築設計事務所（静岡市） （株）永田デザイン一級建築士事務所（静岡市）
5) 施工者名	イハラ建成工業株式会社（静岡市）
6) 工期	平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月
7) 施設概要	木造平屋建て
8) 規模等（延面積）	495.0 m ²
9) 主な使用樹種	スギ、ヒノキ、スギJパネル（直交集成板）
10) 施設の特徴等	本施設は、静岡市の障害福祉施策と同法人（そら）の事業拡充に伴う拠点整備のニーズが合致し、計画された。 設計上特筆すべきは、「持続可能な環境配慮型建築」を目指したことであり、具体的には、太陽光発電（+蓄電池）、太陽熱給湯はもとより、屋根集熱暖冷及び換気設備、外皮遮熱・内部調湿機能、輻射式暖冷房設備の採用、非常時の為の貯留槽・LPG ボンベ設置などで、災害時等の避難所としての活用も考慮した。 また木材は全て地元静岡県産の製材（12mの無柱スパン梁のみ集成材）の使用を目指し、結果的にはトータルで約110m ³ の木材使用となった。建築的な特徴としては、張弦梁併用で可能となった12mの無柱スパン梁、ホール上部の上屋部分の鉢巻状（壁なし）のハイサイドウィンドウなどが、あげられる。

【施設の画像】（左上から時計回り）

①施設の外観、②作業室・訓練室、③多目的室、④浴室

